

新型コロナウイルスワクチン接種に関する迅速な情報公開等を求める意見書

新型コロナウイルス感染流行を一刻も早く終息させ、社会活動、経済活動を再開させるためにも新型コロナウイルスワクチンを安心して受けられる環境を政府は整えるべきである。

国民の間には、ワクチンが感染拡大防止の切り札になるのではないかという期待とともに、副反応や健康被害などに関する不安も根強く存在する。そのような状況下で、命や健康にかかわる情報やその根拠が不透明のままワクチン接種を進めれば、結果として接種が滞るとともに、接種を受ける人と接種を受けない人との間に分断が生じかねない。

従って、政府は新型コロナウイルスワクチン接種について、迅速な情報公開や優先接種等に関する科学的根拠に基づいた説明を誰にでも理解しやすい言葉で行うべきである。

また、ワクチンの接種体制を整備するために、自治体に対して国が必要な支援を適切に行うことも急務である。対応が遅れた場合、大量の業務を抱える自治体窓口で混乱が生じ、ワクチン接種に大幅な遅れが発生する可能性がある。

よって、町田市議会は政府に対し、下記事項を実現するよう強く求める。

記

- 1 政府は新型コロナウイルスワクチンの副反応リスクや感染予防・発症予防・重篤化予防の効果の程度、有効期間等について、情報が更新される度に迅速に説明すること。
- 2 接種についてはあくまで個人の判断とすること。その判断のために国民が求める情報は迅速・的確に届けること。
- 3 副反応を含め疑い事象について相談窓口を周知し、迅速な対応と情報公開を徹底するとともに、救済制度の更なる充実を図ること。
- 4 ワクチンの接種体制を構築するために、国が自治体に対して十分な支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。